

市長  
発

# しおかぜ通信

## 謹賀新年

笠岡市長 高木直矢

輝かしい新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。  
皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
私は、昨年の市長三期目出発時と同様に本年も、従前から堅持して  
います「市民の目線」「市民起点」を基に、「活力ある福祉都市笠岡」の  
実現に向けて、市民の皆様方との協働を常に心がけてまいりたいと  
考えております。

昨年は、市民の方々とともに歩み、協働して行政運営を進める基本と  
なる笠岡市の憲法ともいえる「自治基本条例」を制定・施行いたしました。  
また、本年はこれまで笠岡市の活性化の大きな壁の一つであり、本  
市の最重要施策として取り組んでまいりました「線引き」の廃止に関し  
ましても、その実現の道を拓く歴史的な年となっております。さら  
に、希望の大地である笠岡湾干拓地も、バイオマスタウン構想、道の駅“の実現など、広大な菜の花・ひまわり畑  
の観光資源とともに、有効利用にむけ、着実に前進しているところです。

飛躍の年とする本年に、最大の課題とする施策は、「定住促進」であります。昨年、人口減少に歯止めをかけ、  
豊かさ・満足度、納得度の高い、定住促進策を求めて、私自身が本部長となり、「定住促進本部」を発足させ、  
「空き家・空き農地有効利用対策事業」、「若者転入者等新築住宅助成事業」、「Uターン・Iターン就職斡旋事  
業」、「結婚応援事業」等、六つの定住促進具体策をまとめました。

本年は、これらの施策を笠岡市役所のみで推進するのではなく、全市的ネットワークを構築し、笠岡のよさを地  
域と協働してアピールし事業を推進してまいります。その拠点として「笠岡市定住促進センター」を四月に発足さ  
せ、笠岡の活性化の源としていきたいと考えております。

信念を持って本年も市政運営に取り組んでまいりますので、格別のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

